

#### 第14課 ボランティア活動〈話してみよう〉

タン：田中さんのかばん、ずっしりと重そうですね。

田中：ああ、これから子どもたちに本を読み聞かせるボランティアなんです。それで、おもしろそうな本を何冊か選んで持ってきたから…。

タン：へえ、田中さんはそんなボランティアもしているんですね。すごいです。どうしてボランティアを始めたんですか。何かきっかけがありますか。

田中：ん、定年後、家でごろごろしてたとき、友人に勧められたんですよ。始めてみると、よく「ありがとう」って言われてね。人の役に立っていると思うと、うれしくて…。

タン：何年ぐらい続けているんですか。

田中：もう5、6年になるかな…。今はやりがいを感じますよ。こちらが子どもたちから元気をもらっているほどです。

タン：いいですね。僕もボランティア、やりたいなあ…。

田中：そうですか。ぜひ一緒にやりましょう。でも、タンさんはどうして？

タン：僕は日本に来てから、いろいろな人のお世話になったんです。例えば、電気やガスの手続きとか宅配便の不在票とか…。紙を見ても全然わからなかったんですが、周りの人が親切に手伝ってくれたんです。

田中：簡単なことでも、外国にいと難しかったりしますからね。

タン：ええ。だから私もいつかほかの人にお返しがしたいって思ったんです。

田中：なるほど、そうですか。実は今、小学校や中学校に、外国にルーツのある子どもたちが大勢いるんですよ。ベトナムの人もありますよ。その子たちの勉強を見てあげたり、ベトナム語の本を読んであげたりしたら、喜ばれると思いますよ。

タン：本当ですか。ベトナム語でいいなら、自信があります。ぜひやらせてください。

#### 第14課 ボランティア活動〈読んでみよう〉

田中さんのかばんが重そうだったので、タンさんが尋ねたところ、子どもたちに本を読み聞かせるボランティアをしていて、本を何冊か持ってきたとのことでした。タンさんは、田中さんがボランティアをしていることに興味を持って、田中さんにボランティアを始めたきっかけを聞いてみました。田中さんは、定年後に友人に誘われて始めたそうですが、今は子どもたちから、元気をもらってやりがいを感じています。

タンさんは自分もボランティアがしたいと思っていることを伝えました。田中さんが、タンさんにどうしてやってみたいのか聞いたところ、タンさんは日本に来たばかりのころ、人に助けってもらった話をしました。自分の国では簡単にできたことも一人でできず、困ったとき、周りの人が助けてくれたのです。そのとき、タンさんはいつか自分もほかの人を手伝ってお返しがしたいと思いました。

田中さんは、タンさんにベトナムの子どもたちの勉強を手伝ったり、本を読んだりするボランティアを勧めました。タンさんはぜひやらせてくださいと答えました。